

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2024年

SUMMER
夏

第214号

自衛隊の協力による 防災公園しろいし造成工事
【(仮称)白石中央スマートインターチェンジ隣接地】



2～5P 6月定例会の概要・審議した議案
5P 意見書・議案の賛否一覧
6～11P 市政に対する一般質問(11名)

12～13P 市民と議会の意見交換会
14P 人事・議員表彰・編集後記

議会を傍聴しませんか？

9月定例会は、9月5日（木）午前10時開催予定です。



インターネット中継



傍聴のしかた

6月定例会 一般会計補正予算など33議案を承認・可決

令和6年6月定例会は、6月17日から6月27日までの11日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、報告6件、人事1件、専決14件、条例他7件、予算5件の計33件でした。全ての議案の説明が行われ、このうち議案第2号から議案第46号は質疑の後、採決の結果、全会致で同意・承認しました。

一般質問は、6月20日・21日の2日間で、11名の議員が質問を行いました。

定例会最終日（6月27日）の本会議において、議案第47号から議案第58号の審議が行われ、このうち議案第54号・令和6年度白石市一般会計補正予算（第1号）については、修正動議の提出がなされ、質疑の後、反対の討論があり、採決の結果、修正案については賛成少数で否決、原案は賛成多数で可決しました。残る議案については、全会致で原案のとおり可決しました。また、最終日に議員提出による議案1件（議提第1号）が上程され、提出議員による提案理由の説明を経て、質疑の後、採決の結果、賛成少数で否決されました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎東北自動車道を横過する白石市が管理する跨道橋の撤去工事等に係る工事細目協定書の変更について

福岡蔵本字狐壇地内の東北自動車道と国道4号に架橋された、狐壇歩道橋撤去工事委託に係る協定書について、令和5年4月の臨時会で議決を得て東日本高速道路株式会社東北支社と協定を締結した後、

現地調査の結果、軟弱地盤のため地盤改良が必要となったことから、協定の金額を当初の7億7千51万9千934円から2億7千949万9千732円を増額し、10億5千1万9千666円に変更すること、また、関係機関の再協議に日数を要したことから、協定の期間を1年延長し、「令和8年3月31日まで」とすることについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めらるるものです。

6月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
報告第2号	市長提案 損害賠償額の決定及び和解について	報告
報告第3号	令和5年度白石市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第4号	令和5年度白石市一般会計予算繰越繰越し繰越計算書について	報告
報告第5号	令和5年度白石市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報告第6号	令和5年度白石市下水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報告第7号	令和5年度白石市病院事業会計予算繰越計算書について	報告
議案第32号	固定資産評価委員の選任について	同意
議案第33号	専決処分承認を求めることについて（専決第3号） （令和5年度白石市一般会計補正予算）	承認
議案第34号	専決処分承認を求めることについて（専決第4号） （令和5年度白石市国民健康保険特別会計補正予算）	承認
議案第35号	専決処分承認を求めることについて（専決第5号） （令和5年度白石市水道事業会計補正予算）	承認
議案第36号	専決処分承認を求めることについて（専決第6号） （令和5年度白石市下水道事業会計補正予算）	承認
議案第37号	専決処分承認を求めることについて（専決第7号） （白石市水道事業施設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例）	承認
議案第38号	専決処分承認を求めることについて（専決第8号） （白石市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例）	承認
議案第39号	専決処分承認を求めることについて（専決第9号） （白石市指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例）	承認
議案第40号	専決処分承認を求めることについて（専決第10号） （白石市指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例）	承認

○白石市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

令和7年4月1日から、子ども医療費の助成に関する年齢の上限を15歳から18歳に拡大するため、条例の一部を改正するものです。

予 算

○令和6年度白石市一般会計補正予算(第1号)

これまでの歳入歳出予算からそれぞれ1億725万5千円を減額し、予算の総額を171億2千469万1千円とするものです。主な内容は次のとおりです。

○コミュニティ助成事業 500万円

○不妊検査費・不妊治療費助成事業 115万円

○新型コロナウイルスワクチン定期接種事業 8千769万8千円

○学びの多様化学校の教育の充実に関する調査研究 295万2千円

本会議質疑より

○専決処分の承認を求めることについて(専決第4号)
(令和5年度白石市国民健康保険特別会計補正予算)

【質疑】出産育児一時金について、予算計上額と実績に大きな差があるが、減額補正額の内容(出産育児一時金支給対象人数を含め)を伺う。

【答弁】過去の件数を参考に、令和5年度当初予算では22件を見込んだが、3月までの支給実績が4人だったことから減額補正したものである。

○専決処分の承認を求めることについて(専決第16号)
(令和6年度白石市一般会計補正予算)

【質疑】物価高騰対策給付金給付事業(子育て世帯加算)について、事業の詳細を伺う。

【答弁】今年度新たに住民税非課税もしくは均等割課税世帯となった625世帯を対象に10万円を給付するため6千250万円

を計上、また、対象となる世帯において、平成18年4月2日以降に出生した子を扶養している場合は、子育て世帯加算として1人当たり5万円が支給される仕組みとなっており、その数を100人と想定し、500万円の予算を計上したものである。

○令和6年度白石市一般会計補正予算(第1号)

【質疑】いじめ対策・不登校支援等推進事業の詳細を伺う。

【答弁】学びの多様化学校である「白石きぼう学園」の教育活動の充実を図るため、大きく2点について取り組む予定としている。

1点目は、各教科での学び、体験活動、学び直しの時間を連動させた学びプランの作成と実践、2点目は、運営モデル形成コーディネーターを配置し、体験活動に関する企業等との連絡調整、体験入学や見学に係る保護者との調整、仕組みの構築、手順の整理等をしていただく予定としている。
コーディネーターに資格を

議案第41号	専決処分の承認を求めることについて(専決第11号) (白石市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例)	承 認
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて(専決第12号) (白石市市税条例の一部を改正する条例)	承 認
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて(専決第13号) (白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承 認
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて(専決第14号) (白石市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例)	承 認
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて(専決第15号) (白石市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例) (令和6年度白石市一般会計補正予算)	承 認
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて(専決第16号) (令和6年度白石市一般会計補正予算)	承 認
議案第47号	宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決
議案第48号	東北自動車道を横過する白石市が管理する跨道橋の撤去工事等に係る工事細目協定書の変更について	原案可決
議案第49号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市税の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第50号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第51号	白石市企業立地促進条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第52号	白石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第53号	白石市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第54号	令和6年度白石市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第55号	令和6年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第56号	令和6年度白石市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第57号	令和6年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第58号	令和6年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議提第1号	議 員 提 案 現行の健康保険証の存続を求める意見書	否 決

求める予定はないが、学校の教職員や保護者などの連絡調整も行なっていたり、必要があることから、学校教育に携わったことのある方が望ましいと考えている。

体験活動や体験入学の受け入れの調整手順などが一般化され、安定的な学校運営体制の構築が可能になるとの効果を見込んでいる。

〔質疑〕 新型コロナウイルスワクチン接種事業の内訳について詳細を伺う。

〔答弁〕 需用費(12万7千円)は、実施医療機関で備える予診票、事業周知用チラシの紙代、印刷機のインクマスター代、役務費(2万1千円)は、実施医療機関への予診票発送に係る郵送料、委託料(8千730万4千円)は、国が示している標準接種費用1万5千300円から自己負担を差し引いた1万2千300円に、接種見込み者の7千12人を乗じたものと、生活保護受給者分の合計で算出している。扶助費(24万6千円)は、広域契約

以外の医療機関で接種を済ませた対象者への償還払いとして計上している。

〔質疑〕 65歳以上について、接種費用1万5千300円のうち、8千300円を国が助成すると示されているが、残り7千円のうち4千円を市で助成するということが。

市でその助成額とした根拠とねらいを伺う。

〔答弁〕 国が示すワクチン価格は1万1千600円、手技料が3千740円である。国がワクチン価格から8千300円を助成するため、残りのワクチン代3千300円は接種者に負担いただき、手技料分を市が助成するよう算出している。

なお、医療機関窓口の煩雑を考慮し、千円未満は四捨五入とすることから、接種者の負担を3千円としている。

〔質疑〕 新型コロナウイルス感染症が重症化した場合の医療費と、市で独自に助成した場合のワクチン接種費用のコストバランスについて試算されているか。

また、市が65歳以上に助成しなかった場合の予算額の変更点と、デメリットについて伺う。

〔答弁〕 重症化した場合の医療費は、人によりさまざまであることから、ワクチン接種費用とコストバランスは試算することはできない。

万一、新型コロナウイルスに感染した場合には、一般的に抗原検査費用、初診料、処方せん料を含め、自己負担は2千円程度、投薬代は、風邪薬であれば1千円程度だが、コロナ治療薬の場合は、1万5千円から1万8千円と高額になる。

感染者数や受診率など、見えない部分はあるが、保険者負担も大きいものになると思われる。国民健康保険加入者の受診率が高くなれば、国保財政に大きな負担がかかることから、

感染による重症化リスクの高い定期接種対象者には、本人の希望によるが、接種しやすい環境になるよう助成することが望ましいと考える。

市が助成しなかった場合の予算額の変更点は、委託料と扶助費合わせて、2千812万8千円の減額になる。デメリットは、接種率低下による感染者の増加、若い世代への感染拡大が懸念される。

〔質疑〕 65歳未満の任意接種の方の自己負担額を伺う。

〔答弁〕 国からは、現在のところ標準接種料は1万5千300円としか情報が来っていない。

〔質疑〕 デジタル田園都市国家構想交付金が交付された理由を伺う。

〔答弁〕 デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公共サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費を支援する「デジタル実装タイプ」を活用し、住民サービスの向上と職員の業務効率化を図ることのできる事業について、デジタル田園都市国家構想交付金交付要綱に基づき、令和6年3月に交付申請を行い、4月に交付決定を受けたこと

から補正予算を計上したものである。これは、「個別最適化学習事業」の財源となるものである。

〔質疑〕 「デジタル実装タイプ」以外の「地方創生推進タイプ」、「地方創生拠点整備タイプ」も交付申請の準備があるか伺う。
〔答弁〕 整備を進める(仮称)道の駅しろいし整備事業において、「地方創生拠点整備タイプ」を活用するため、現在、国と調整を行なっている。

〔質疑〕 消防団等運営経費について、購入する備品の名称と数量を伺う。

〔答弁〕 防火上着、防火ヘルメット、消防用銀長靴、防火手袋を1セットとし、12セットを購入する。財源は、「コミュニティ助成事業助成金100万円を活用する。



◎令和6年度白石市水道事業
会計補正予算(第1号)

〔質疑〕衛星管路診断委託料の
詳細と内容を伺う。

〔答弁〕衛星管路診断は、人工
衛星を活用して得た画像と水
道管の管路データを解析し、漏
水のあるエリアを半径約100メ
ートルの範囲に絞り込み、地上
調査をすることで漏水箇所を
特定するものである。

本市を含む県内11市町と、
福島県の相馬地方広域水道企
業団が共同で実施する、衛星を
活用した水道管路の漏水調査
業務は、県境を越えた自治体
が協力して調査する全国初の
取り組みとして注目されてい
る。

共同で発注するスケールメ
リットによる事業費低減に加
え、デジタル田園都市国家構想
交付金事業として、衛星を活用
した水道管路の漏水調査業務
費用の2分の1を交付額とし
て交付される予定である。

◎令和6年度白石市一般会計
補正予算(第1号)
(修正案) 否決

5名の議員から、市長提出議
案「令和6年度白石市一般会計
補正予算(第1号)」に対する
修正案が提出されました。

修正理由として、新型コロナウイルスによる問題点を指摘し、
市の独自助成分を減額する旨
の趣旨説明がありました。
採決の結果、賛成少数で否決
されました。



議案の修正(修正動議)
とは?

定例会・臨時会では、市長
から議案(条例・予算など)
が提出され、本会議などで
審査し、議決を行います。が、
議員は議案の内容に対し、
必要に応じてその議案の目
的の範囲内において、修正
案を添えた「修正動議」を
発議することができます。

意見書 否決

伊藤勝美議員ほか4名の
賛成者より、議員提出議案
として「現行の健康保険証
の存続を求める意見書」が
上程されました。

提案理由として、マイナ
ンバーカードの取得は任意
であるにも関わらず、健康
保険証が紐付けされること
自体に不安と不信感を抱
く方々がいるためとの説明
がありました。

採決の結果、賛成少数で
否決されました。

◎現行の健康保険証の存続を
求める意見書(概要)

政府は、現行の健康保険
証を2024年12月2日を
もって廃止し、マイナンバー
カードに一本化することを
閣議決定したが、現行の健
康保険証の廃止を拙速に
行わず、慎重に検討を重ね
て進めるよう求めるもの。

詳細は市議会ホー
ムページの「インター
ネット中継」をご覧
ください。



第468回 市議会定例会 (6月27日)

意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			佐藤 龍彦	高子 秀明	伊藤 勝美	澁谷 政義	沼倉 啓介	大森 貴之	佐久間 儀郎	四竈 英夫	小川 正人	角張 大治	大内 卓也	佐久間 順子	村上 由紀	角張 一郎	佐藤 秀行	松野 久郎
第54号議案 令和6年度白石市一般会計補正予算 (第1号) 【修正案】		否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	議
第54号議案 令和6年度白石市一般会計補正予算 (第1号) 【原案】		原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議
議提第1号 現行の健康保険証の存続を求める意見書		否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

市政に 対する 一般質問

11名の議員が質問

6月定例会の一般質問は、6月20日・21日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

佐藤 秀行 高齢者等支援事業について

佐久間儀郎 指定暑熱避難施設（クーリングシエルター）について

小川 正人 白石市の組織について

佐久間順子 食生活改善と腸内環境改善について

角張 大治 (仮称)道の駅しろいしおよび関連する公共施設について

村上 由紀 幼児教育・保育の在り方に関する基本方針(案)について

大森 貴之 マイナンバーカードの健康保険証利用登録等について

佐藤 龍彦 公立刈田総合病院の現状と地域医療について

高子 秀明 (仮称)白石中央SIC周辺整備後の本市経済効果について

大内 卓也 第1回女子硬式野球交流大会について

四竈 英夫 再生可能エネルギーの推進について

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

高齢者等支援事業について

佐藤 秀行



〔質問〕本市のタクシー利用助成事業について、1乗車当たり500円を割り引く助成券を月2枚交付している事業である。1回の乗車の割引を1千円以上にできないものか改めて伺う。

〔答弁〕〔長寿課長〕1乗車当たり使える金額は500円券1枚であるが、令和5年度より1月当たり利用できる枚数の制限を無くしている。事業としてより利用しやすい内容とするよう、引き続き内容を精査していきたい。

〔質問〕重度心身障害者移動サービス利用事業について、タクシー券または燃料券を希望できるような、それは燃料券を交付して、移動に係る経費の一部を助成しようとするものである。燃料券を希望する場合、その対象を運転をしている家族にまで広げることも必要ではないかと考える。市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕家族送迎の場合、家族名義の自動車も対象としなければ、必要とする方への支援のニーズを満たすことができなくなってきた。本サービスがより充実したものになるよう、次年度に向けて、条件の見直しを検討していきたい。

〔質問〕高齡者タクシー利用助成事業について、重度心身障害者移動サービス同様、タクシー券または燃料券を希望できるような、そのような考えはないのか伺う。

◎市制施行70周年記念事業について

〔質問〕弥治郎こけし村は、本年開村30周年を迎える。こけしの原材料であるミズキの木の不足を鑑み、今後ミズキの植樹を検討してはどうか。市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕ミズキの植樹は、材料調達の安定を図り、次世代に伝統を積み重ねていくこけし産業の振興と発展のために必要な事業であると考え。今後、樹木の専門家やこけし業協同組合などと協議し、検討していきたい。

◎その他の質問
◎本市の教育について

指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)について

佐久間 儀郎



〔質問〕指定暑熱避難施設は、熱中症による人の健康に関わる被害発生を防止するため、誰でも休憩できる冷房設備が整った施設である。気候変動適応法により、市町村内の施設を指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)として指定できる制度が創設された。

〔答弁〕〔環境課長〕熱中症特別警戒情報は過去に例のない危険な暑さが見込まれる状況で発令されることから、発令状況や市民の施設利用状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行なっていきたい。

〔質問〕制度と避難の際の利用の仕方などを周知する用意はあるか。

〔答弁〕〔環境課長〕指定当日より市公式ホームページおよび安心メールにより周知し、広報しろいし7月号と合わせたチラシ配布を予定している。

〔質問〕行政とともに熱中症対策に取り組んでいたけりよう、クーリングシェルターとして開放すべく民間施設を募集してはいいかがか。

〔答弁〕〔市長〕改正気候変動適応法では、市町村以外の者が管理する施設についても、当該管理者の同意を得て指定できるとされている。

今後、民間施設のシェルター指定をはじめ、民間団体等との熱中症対策における連携協力も検討していきたい。

〔質問〕熱中症特別警戒情報が発表されていない場合でも、夏場、運用期間中に高齢者等に休憩場所として開放してはいいかがか。

〔答弁〕〔市長〕指定した4施設は、仮に熱中症特別警戒情報が発表されない場合でも、市民からの申し出等により暑さをしのげる施設として休憩できるよう対応したい。

〔その他の質問〕

◎迅速な権限証明書の発行・交付について

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

白石市の組織について

小川 正人



用してはどうか。

私は白石を良く知っている宮城県からの応援をいただくのが良いと考えるが、市長の見解を伺う。

〔質問〕財政は自治体の規模により限りがあるが、人材はその限りではないと考える。それゆえ、人材の登用や能力を引き出すことは欠かすことができない。市政の中心は市長であるが、山田市長になつてから、建設部長、教育部長を国から派遣していただき、大いに市政の力になっていただいている。しかし、菊地副市長の英気と努力と苦勞なくして現行の白石市はあり得ず、気の毒に感じる時がある。

そこで、副市長の負担を軽減するためにも、副市長を二人体制にし、国・宮城県の人材を登

〔答弁〕〔市長〕副市長を二人体制にしてはどうかという提案であるが、私という提案であるが、かという提案であるが、私の任期も残り5カ月を切っていることから、今、この段階で組織の体制を変えるということには考えていない。

全国的にも国や県から副市長を派遣していただき、国や県とのパイプを生かし、課題解決に当たっている市町村は数多くある。

そのような状況から、副市長を二人体制にして、一人を県から派遣していただくという提案は、今後、検討に値するのではないかと感じている。

私の任期もあとわず

かであるので、任期中は現在の体制で精一杯頑張らせていただき、今回の提案については今後の検討課題とさせていただきます。

◎益岡公園について

〔質問〕益岡公園は花や木、スポーツ施設、白石城があり、白石の名所であるが、桜の一部にはてんぐ巣病に感染している木も見受けられる。今後、どのような予算で管理を行う予定なのか伺う。

〔答弁〕〔都市創造課長〕益岡公園本丸内の管理は(財)白石市文化体育振興財団に委託している。

桜の名所である益岡公園を引き継ぐため、樹木の状況を確認しながら補植の計画を行うとともに、補植や移植に活用できる各種制度を探りながら対応していきたい。

〔その他の質問〕

◎選挙の投票率向上対策について

◎水害対策について

食生活改善と腸内環境改善について

佐久間 順子



【質問】腸内細菌を改善することで太りにくくなることや病気のリスクが減り、さらには認知機能改善につながるが、腸内環境の改善について、市長の見解を伺う。

【答弁】【市長】腸内環境を整えるために、食物繊維を多く含む野菜や果物、海藻類、いも類、牛乳、乳製品の適量摂取、また、腸のぜんどう運動を活性化させるため、毎日ウォーキングを行うなど、適度な運動で体を動かすことも大切であると理解している。私たちはさまざまな食品

を取り入れて、それぞれの栄養素になり、体内でつながっていることから食物繊維だけでなく、他の食品についても体に見合った量を摂取する必要がある。良質な腸内環境を維持するためには、栄養バランスや生活リズムを再点検し、望ましい生活習慣および食習慣の維持や改善に努めることも重要であると認識している。

【質問】適度な運動とバランスの良い食生活、生活習慣の改善が重要であることは、ほとんどの人が知り得ている情報である。本市も現在の健康情報をアップデートしていく必要がある。食習慣の改善や栄養、さらに認知機能と深く関連する腸内環境の改善について、子どもから高齢者まで知ることが大切だと思うが、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

【答弁】【市長】乳幼児健診やさまざまな健康に関する講習会、教室などにおいて、市民の健康づくりのための一助として、これからも食の重要性について子どもから高齢者まで、全ての世代へ伝えていくことが重要であり、市民が食に関する正しい知識を身につけ、生涯にわたり健康的な食生活を実践し、心豊かに生き生きと暮らせるよう、家庭、保育園や幼稚園、学校、地域、企業などと連携し、市民とより一層の食育の推進を目指していきたい。

【質問】子ども、食と健康について

◎不妊と食生活の取り組みについて

(仮称)道の駅しろいしおよび関連する公共施設について

角張 大治



【質問】(仮称)道の駅しろいしについて、収支の試算(売り上げや入れ込み数の試算)は行なっているか伺う。

【答弁】【都市創造課長】他事例を基に試算している。

【質問】試算を公表している他市町と、公表しない本市の差について、考えを伺う。

【答弁】【都市創造課長】事業者側からの提案を狭める可能性があるため、提案価格の上限のみを公表している。

【質問】売り上げや利用者数を公表することが、提案を狭めることにはつながらないと考える

【答弁】【建設部長】それが、見解を伺う。

【答弁】【建設部長】どれだけ多くの来場者数を見込むかも含め、一体的に提案をされるものと思われため、市の想定来場者数の目標等は公表していない。

【質問】第466回定例会では「目標数値はPFI事業者が決定した後に決まっていくものと考えられている」との答弁があった。

事業者選定後や予算執行前に、市の試算や選定事業者の試算は公表されるか伺う。

【答弁】【都市創造課長】提出書類の著作権は応募者に帰属するが、市が必要と認める場合には、提案書類の全部または一部を使用することができると認める。仮契約後に事業者と協議を行いたい。

【質問】全議員が承認、不承認について責任がある。協議するに足り得る情報を開示していただきたいが、市の考えを伺う。

【答弁】【建設部長】選定した事業者側と仮契約後に協議したい。

【質問】公共施設のあり方に関する市民アンケート調査の結果より、これからの公共施設について74.4%の市民が「将来世代に負担を強いることのないよう、公共施設の役割や利用実態を検証した上で、財政状況に見合うよう減らすことも考えるべき」と回答している。

新たに道の駅に設置するスポーツ・レクリエーション施設について、見解を伺う。

【答弁】【建設部長】責任を持った維持管理・運営までの事業を実施できる事業者を選定し、将来世代の負担も軽減できるように努めたい。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

幼児教育・保育の在り方に関する基本方針(案)について

村上 由紀



【質問】少子化と施設の老朽化が顕著になってきたことから、本市の現在の公立幼稚園1園と保育園5園に代わる公立認定こども園を創設することを含めた「白石市幼児教育・保育の在り方に関する基本方針(案)」が示された。答申の説明会において、高校生や子育て当事者からの意見を伺う。

【答弁】「教育部長」高校生からは「保育士等の充実」「相談や交流の場の充実」、保護者からは「駐車場の確保」「延長保育の拡充」「認定こども園をもっと早く作ってほしい」と等の意見が挙げられた。

【質問】旧いきいきプラザ跡地を建設予定地に選定した理由を伺う。
【答弁】「副市長」行政機関と保護者の送迎の利便性、市民が集まりやすい市の中心部ということを選定した。
【質問】送迎バス運行の検討について伺う。
【答弁】「教育部長」意見等を踏まえて慎重に検討していく。
【質問】認定こども園の定員を伺う。
【答弁】「こども未来課長」答申の中で70名程度と見込まれているが、基本設計の仕様書作成までに、未就学児の推移や利用ニーズを再検証し、意見を参考にしながら総合的に勘案していく。

安心して子どもを産み育てられるまちづくりについて

【質問】現在、3歳から5歳児は保育料無償化。

0歳から2歳児に対しても早期無償化すべきではないか。見解を伺う。

【答弁】「市長」少子化のスピードを鑑みれば、すくなくとも取り組むべきことと認識している。財源を確保した上で進めていきたい。

【質問】給食費の無償化について、国への要望の進捗状況を伺う。

【答弁】「市長」具体的な動きの情報は得られていない。引き続き粘り強く要望する。

【質問】「持続可能な市」にするため、子育て世代や若い世代に経済的な負担軽減策を講じる必要があると考えるが、見解を伺う。

【答弁】「市長」強固な財政基盤を確保するため企業誘致などを推進し、0歳から2歳児の保育料無償化の早期実現、子育て中の孤立防止策、とりわけ若い世代から選ばれるまちとなるよう、最大限の力を尽くしていく。

マイナンバーカードの健康保険証利用登録等について

大森 貴之



実施に本市として参加する考えがあるのか伺う。

【答弁】「市長」仙南広域消防本部の導入の際には、本市としては事業の趣旨に大いに賛同していきたい。

救急を呼ばなければならぬとなつた際に、自分の状況を適切に消防隊に伝えることが難しい場合が多くなつてくると考える。行政としては、市民の命を救うことに一切ちゅうちょがあつてはならない。そういったところから、積極的にこのデジタル化、そしてマイナンバーカードをこの救急業務にも取り入れていっていただきたいことを強く申し上げていきたい。

【質問】今後、実証実験

登録をますます拡大するための、本市の対策について伺う。

【答弁】「健康推進課長」ホームページへの掲載等で周知・広報に努めていきたい。

国民健康保険証については、窓口で保険証を発行する際に口頭で案内するとともに、10月1日付けの国民健康保険証の二斉更新に合わせてリーフレットを作成し、郵送により配布する予定である。

【質問】市内医療機関では、カードリーダーが導入されるべきと考えるが、最新の導入状況を伺う。

【答弁】「健康推進課長」マイナンバーカードの健康保険証利用可能な薬局を含めた医療機関は、市内では52件となっており、9割以上が導入している状況である。

内水氾濫防止について
大規模災害発生時の仮設住宅等について

公立刈田綜合病院の現状と
地域医療について

佐藤 龍彦



〔質問〕現在、公立刈田綜合病院に勤務している看護師の人数を伺う。

〔答弁〕「保健福祉部長」本年5月31日現在、正職員80名、パート職員7名、任期付き職員11名の合計98名となっている。

〔質問〕休床している47床の稼働はいつ頃になるのか伺う。

〔答弁〕「保健福祉部長」指定管理者からは、稼働に向けて看護師の採用を積極的に行なっており、夏にかけての追加採用を含め、必要な人員が整い次第、今年度中に再開したいと聞いています。

〔質問〕令和5年度の収支の見通しを伺う。

〔答弁〕「保健福祉部長」指定管理開始当初から、「断らない医療」をモットーに掲げ、院内においても周知徹底したことで救急患者の受け入れ、病床稼働率、他院からの紹介受け入れを増やすことができている。これにより医療収益も増加し、また、市からの交付金等も考慮すると、黒字を達成できる見込みであると指定管理者から報告を受けている。

〔質問〕みやぎ県南中核病院への通院のための交通手段について、市民バスの路線の延伸等を求める声があるが、本市の考えを伺う。

〔答弁〕「副市長」市民バスのみやぎ県南中核病

院への運行の予定はない。

〔質問〕今後のみやぎ県南中核病院との連携について伺う。

〔答弁〕「市長」連携プランにより、公立刈田綜合病院は急性期機能を保持しつつ、仙南医療圏において回復期医療を担うこととなり、指定管理者制度導入後、救急患者の受け入れ件数、他の病院からの紹介も大幅に増加し、みやぎ県南中核病院との連携についても以前に比べ、大変スムーズに進んでいると報告を受けている。みやぎ県南中核病院とは良好な連携が築けており、今後も連携プランに基づき、回復期医療の強化を図ることは、仙南医療圏を支える一つの仕組みになっていると考えています。

〔その他の質問〕

◎本市の教育および教育環境について

〔質問〕本市財政に寄与する歳入規模について、(仮称)白石中央S・I・C周辺整備事業、その事業全体でにぎわいを創出し、白石の未来をデザインする新たな交流拠点を目指して」が、全体の施設や工業団地が運用後達成されるとした場合に、想定される本市財政に寄与する歳入規模をどう見込んでいるか伺う。

〔答弁〕「都市創造課長」進出する企業の規模や業務形態により、あらかじめ歳入規模の想定を行うことは困難である

(仮称)白石中央S・I・C周辺
整備後の本市経済効果に
ついて

高子 秀明



〔質問〕本市財政に寄与する歳入規模について、(仮称)白石中央S・I・C周辺整備事業、その事業全体でにぎわいを創出し、白石の未来をデザインする新たな交流拠点を目指して」が、全体の施設や工業団地が運用後達成されるとした場合に、想定される本市財政に寄与する歳入規模をどう見込んでいるか伺う。

〔答弁〕「都市創造課長」進出する企業の規模や業務形態により、あらかじめ歳入規模の想定を行うことは困難である

ものと考えている。しかしながら、企業の進出がなされれば、法人市民税、雇用された従業者の個人住民税や住居に対する固定資産税に加え、個人の消費意欲向上など、さまざまな形で本市財政に好影響を与えるものと考えている。

〔質問〕本事業の事業コンセプトが達成されるとした場合に想定される本市の市民経済にもたらされる経済効果、市内総生産の増加をどのように見込んでいるか伺う。

〔答弁〕「市長」(仮称)白石中央S・I・C周辺整備事業は、既に行われている建設工事等による投資、工事等に伴う地元企業への発注や消費、道の駅開業後における消費や

市内観光施設および事業所への消費など、本市市民経済にもたらされる経済効果は大きく寄与するものと期待している。本市の令和2年製造品出荷額等は総額1千541億4千683万円、平成30年に1千600億円を超えているもの、ここ数年はほぼ横ばいで推移をしている。経済効果の具体的な数値については、進出される企業の規模や業務形態、さらに景気等の影響により変動することから、なかなか想定を行うことは困難であると考えているが、第六次白石市総合計画において、製造業の製造品出荷額を令和12年度目標値として、1千900億円と掲げていることから、目標達成に向けて、企業誘致や創業支援などの取り組みをさらに充実させ、本事業が本市経済に、確実な好影響を与えるよう全力で取り組む。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

第1回女子硬式野球交流大会について

大内 卓也



〔質問〕当大会に本市が共催となった経緯について伺う。

〔答弁〕〔市長〕当大会を実質的に主催する仙台大学と本市は、令和2年に包括連携協定を締結しており、当該大会はスポーツの振興や地域の活性化などの包括連携協定に掲げる内容に合致するものであった。また主催者のご厚意により、白石市市制施行70周年記念事業として開催していただいた。
〔質問〕大会共催として、本市が経費等を負担した面はあるか伺う。

〔答弁〕〔市長〕経費の負担ということではなく、大会の共催、市制施行70周年の記念事業であること、女子スポーツの普及を鑑みて、球場および公民館の施設使用料の減免という形で共催者として支援をさせていただいた。

〔質問〕選手の宿泊地に本市の宿泊施設が選ばれた経緯について伺う。

〔答弁〕〔市長〕当該大会の開催について、宿泊を伴う大会であったことからトップセールスをさせていただいた。選手や関係者約300名が本市においてになり、そのうち約150名の方々が本市の宿泊施設を利用された。

〔質問〕今後同大会への共催を本市で実施する意向はあるか伺う。

〔答弁〕〔市長〕今後についても、本市の大会共催を通じた交流人口の拡大、スポーツの振興と地域経済の活性化、そして何より当該大会の目的達成に向けた助となるよう、包括連携協定に基づき積極的に共催していきたいと考えている。

〔質問〕今後、野球場を含め、益岡公園施設への設備強化の考えはあるか伺う。

〔答弁〕〔都市創造課長〕今回の女子硬式野球交流大会を益岡公園野球場で開催していただき、設備面について不十分との声があることは聞いている。改めて野球場を利用する関係者の方々に意見を伺い、現状の課題を整理し考慮していきたいと考える。

再生可能エネルギーの推進について

四竈 英夫



基づき、自然環境、生活環境に配慮した事業が実施されるよう対処していく。

〔質問〕本市として事業に対する許認可の権限はあるのか伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕本市においては許可の権限はない。「自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」に基づく同意という手続きがある。

〔質問〕脱炭素社会を目指す本市としての取り組みを伺う。

〔答弁〕〔市長〕公共施設や防犯街路灯の照明LED化、ホワイトキューブZEB化、リサイクル運動報奨金等を行うと共に、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を新たに策定し、自然環境を維持していく。

◎今後の小・中学校教育の在り方について

〔質問〕進行する少子化の現状から、将来の学校教育をどのようにするかを学校教育・保育審議会に諮問したが、その答申をどのように受け止めたのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕審議会委員には学識経験者や自治会長など多様な方にお願ひしており、答申の内容は大変重いものと受け止めている。

〔質問〕小中学校再編の構想を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕小中一貫の義務教育学校、同小規模校、不登校特例校(学びの多様化学校)の3校に再編してはどうかとの提案がなされている。

〔質問〕小中一貫校構想の理由を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕義務教育9年間を連続した教育課程と捉え、小・中学校が別組織である諸課題の解消につながる。さらには多くの意見をいただきながら検討を行なっていく。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

厚生文教常任委員会 参加者からのご意見

3班【子育て支援について】

- 市独自の教員配置を配慮する必要、また、支援員を増やすべきである。
- 現状白石中学校区だけの特別支援学級を、福岡中学校および東中学校にも配置すべきである。
- 学校給食費の無償化については、子育て世代の期待が根強い。当面全額とは言わないが、一部助成を考えてほしい。若いお母さん方の声にしっかりと耳を傾けてもらい早期実現すべきである。
- 来年度からの18歳までの子ども医療費の無償化について、少しでも前倒しを求めたい。
- 東大畑の子育て応援住宅の家賃を、例えば緑ヶ丘住宅の家賃並みにするなど、若い子育て世帯のため工夫できないか。
- レジャー施設が足りない。
子どもたちが安心して遊べる運動公園も少ない。市施設跡地の有効活用を考えてほしい。



4班【健康・福祉について】

健康について

- 高齢者にとって遊びは大切である。白石で「カラオケ」ができる場がほしい。
- 健康づくりを推進するため、「きっかけづくり」をどのように創出していくのか、今後検討が必要。
- 仙南地域広域行政組合で、国の支援を受け、健康延伸を行うと聞いている。それに合わせて新たな事業等を検討してほしい。
- みやぎ県南中核病院に、通院のための送迎バスを出してほしい。



福祉について

- 高齢者福祉制度について、漫然と継続している感覚がある。白石市独自の新たな制度を検討してほしい。
- 「健康維持」「介護予防」のため、外出の機会を増やすため、新たな移動手段の確保を検討してほしい。
- 福祉活動を一般の人が知る機会を増やす「見える化」することが大事。
- 認知高齢者の見守り体制「QRコード事業」「SOSネットワーク事業」について、利用実態の検証が必要では？



議長への報告
(政策企画調整会議・各常任委員会委員長)

今後の取り組みについて

意見交換会の開催にあたり、参加者の皆さまからいただいたご意見は、各常任委員会などにおいて、行政効果や実現の可能性などを調査・検討し、市に対して政策提言や要望の必要があると判断したものについては、その実現に努めます。

また、各議員はいただいたご意見などを参考とし、自己能力を高め、議会における議案質疑や一般質問などの場において、市政課題の解決に努めます。

市民と議会の意見交換会報告書は、市議会のホームページで公開しているほか、各地区公民館にも閲覧用として備え付けています。ぜひご覧ください。

～開かれた議会を目指して～ 市民と議会の意見交換会



市民と議会の意見交換会
報告書

通算7回目となる「市民と議会の意見交換会」を、令和6年3月17日(日)午前と午後の2回、白石市中央公民館を会場に開催しました。

今回は、2つの常任委員会がそれぞれのテーマに沿って4つのグループに分かれてワークショップ形式により意見交換会を行いました。

のべ41人の市民の皆さまの参加により、多くの貴重なご意見をいただくことができました。

1班【防災・減災について】

- 空き家を避難所として利用する取り組みはできないか。



- 高齢者が増えているため、防災訓練のやり方を見直すべきではないか。
(車椅子の方等の避難訓練時の介助等の習得)

- そもそも避難所自体の安全性は担保されているのか。



- 水、食糧、石油の備蓄をさらに充実させてほしい。
- 災害発生時、避難活動における自治会長の権限を条例で定めてほしい。
- 河川や水路の体積物を除去してほしい。
- 河川管理に関して県と国との連携を密にしてほしい。
(市管理河川においてしゅんせつ工事が行われても、合流河口付近の本流河川水位が高ければ市管理河川の水が排水されず、さらには遡上し内水氾濫につながる)

- 耕作していない田んぼを遊水地にしてはどうか。



総務産業建設常任委員会
参加者からのご意見

2班【公共交通機関について】

市民バス「きゃっするくん」について

- 自宅から停留所まで遠い。
- 停留所まで行く手段がない。
- 郡部は本数が少ない。
- ちょうど良い時間帯での運行が少ない。
- 学生が通学に利用する目的がほとんどで、一般市民は利用しない。
- 風雨をしのげる停留所の設置。
- 旭町にもバスを通してほしい。
- セラビ白石以外のスーパーにも発着所がほしい。
- タクシーはバスに比べると料金が高く、通院頻度を減らさざるを得ない。



地域ボランティア送迎について

- 運転手の高齢化。
- 事故が起こった場合、保険以外のケア。
(主に運転手の精神面)

対策について

- 現在運行をしているタクシー会社に乗り合いタクシーの運営を委託することが本市に最もフィットし、全ての課題を解決する可能性がある。



◎一般表彰
 (正副議長4年以上)
 澁谷 政義 議員

◎特別表彰
 (正副議長8年以上)
 小川 正人 議員
 (議員在職25年以上)
 沼倉 啓介 議員

去る5月22日に開催された第100回全国市議会議長会定期総会において、次の方が表彰されました。

議員表彰

(固定資産評価員)
 佐藤 純哉 氏
 じょう じゅんや

人事

6月定例会において、次のとおり選任することに同意しました。

議会を傍聴してみませんか

9月定例会は、9月5日(木)
 午前10:00開会予定です。

氏名や住所の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。

- 6月定例会の傍聴者のべ人数 24人



傍聴のしかた

白石市議会会議録を公開しています

白石市議会 会議録

検索

市議会のホームページに会議録を公開しております。

キーワードでの検索のほか、会議・発言者・期間でも検索できます。

どうぞご覧ください。

「白石市議会インターネット中継」が変わりました

「白石市議会インターネット中継」については、これまで「Youtube(ユーチューブ)」による配信を行なってまいりましたが、より安定的で見やすい映像の配信を目指し、令和6年6月全員協議会の配信より、市独自のインターネット中継に切り替えて配信しております。

新しいインターネット中継では「会議名」から録画映像を探せるほか、一般質問では「議員名」ごとに録画映像を見ることができます。

- ライブ配信視聴回数 (6月) 644回
- 録画配信視聴回数(6~7月) 425回

※録画配信は、映像の編集を行うため、ライブ配信終了後おおむね5日後(土日・祝日を除く)からご覧いただけます。



インターネット中継

白石市議会ホームページの

「白石市議会インターネット中継」をクリック



編集後記

本年6月3日全員協議会のインターネット中継から、市独自の「中継・録画配信」を行なっております。それ以前の議会の様子は、ユーチューブで平成30年9月第432回定例会の録画配信までさかのぼりご覧いただけます。過去の動画の順次削除については未定ですが、決定次第お知らせしますので、それまでにご視聴が可能です。

それに伴い、「しろいし市議会だより」の内容も、より見やすく、より活用しやすいものに進化を目指して、議会広報委員全員で懸命に取り組んでおりますので、今後ともご支援ご高覧のほど、よろしく願いたします。

議会広報委員会

高子 秀明

議会広報委員会 委員

委員長	四竈 英夫
副委員長	村上 由紀
委員	佐藤 龍彦
委員	高子 秀明
委員	大森 貴之
委員	角張 大治
委員	大内 卓也
委員	佐久間 順子